



平成 29 年 9 月 20 日
九州地方整備局
立野ダム工事事務所

立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 10 報】 ～理解を深めて頂くための取り組み及び立野ダム建設予定地周辺の復旧状況～

1. 理解を深めて頂くための取り組み

○立野ダム建設事業について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

【最近の取り組み】

- 平成24年九州北部豪雨及び平成28年熊本地震で被災した白川の復旧・復興対策の実施状況について、白川流域にお住まいの方を対象に現地見学会を開催しました。その中で、ダム周辺建設予定地周辺の復旧・復興対策の実施状況についても、現地見学会を行いました。（別紙1）
- 今後も以下の日程で現地見学会を開催します。（別紙2）

	開催日（平成29年）	募集締切
第4回	10月28日（土）	10月12日（木）
第5回	12月2日（土）	11月15日（水）

※申し込み資料は、立野ダム工事事務所ホームページ他、熊本河川国道事務所、熊本県、各市町村窓口にて入手可能です。

- 熊本地震による被災状況や現在までの復旧状況及び技術委員会での検討内容等について、以下の方々に現地説明を行い、復旧状況等についてご理解を頂きました。（別紙3）

- 平成29年8月4日 大津町の議員、区長等の皆さま
- 平成29年8月22日 立野地域振興むらづくり協議会の皆さま
- 平成29年8月24日 菊陽町の町長、議員、区長等の皆さま
- 平成29年9月4日 大津町の議員等の皆さま

○今後も県や市町村と連携し、理解を深めて頂くための取り組みを行っていきます。

2. 熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況

○立野ダム本体着工に向け、仮排水路トンネル^{*}の工事に着手しました。（別紙4）

^{*}仮排水路トンネルとは、ダムの堤体工事の際に、工事に必要な期間だけ川の水を迂回させるための水路トンネル

【問い合わせ先】

- (1に関する問い合わせ) 国土交通省 九州地方整備局 TEL : 092-471-6331 (代表)
河川部 河川計画課長 坂井 佑介 (内線 3611)
- (2に関する問い合わせ) 国土交通省 立野ダム工事事務所 TEL : 096-385-0707 (代表)
技術副所長 安田 豊生 (内線 204)

白川の復旧・復興対策の現地見学会状況

別紙1

○平成24年九州北部豪雨及び平成28年熊本地震で被災した白川の復旧・復興対策の実施状況について、白川流域にお住まいの方を対象とした現地見学会を開催しました。

- ・第1回 7月29日(土)開催(15名)
- ・第2回 8月26日(土)開催(11名)



第1回現地見学会の状況



第2回現地見学会の状況

白川の復旧・復興対策の現地見学会の案内

別紙2

○白川の復旧・復興対策の現地見学会は、平成29年9月23日(土)に第3回開催を予定しており、第4、5回は参加者を募集しています。

○参加申込書は、以下にて、配布しています。

- ・立野ダム工事事務所、熊本河川国道事務所、熊本県の各ウェブサイトに掲載
- ・関係市町村(熊本市、阿蘇市、大津町、菊陽町、高森町、南阿蘇村、西原村)窓口で配布

※募集要領の詳細は、立野ダム工事事務所ウェブサイトをご覧ください。【<http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>】

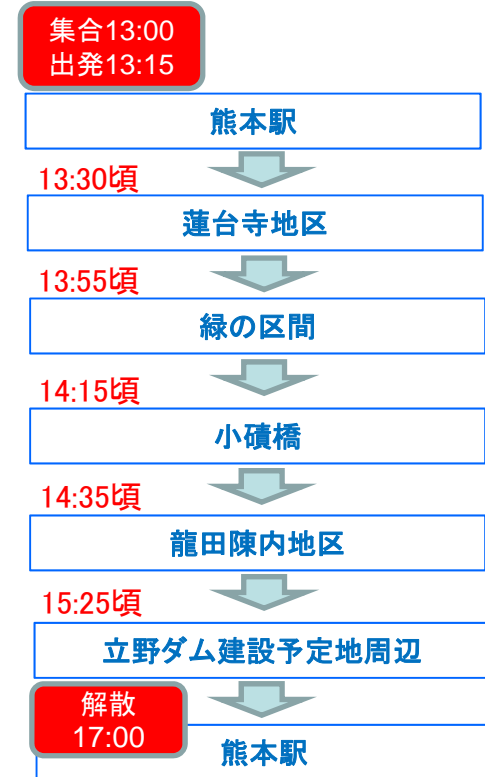
●平成24年九州北部豪雨時の状況



●平成28年熊本地震時の状況



●現地見学会のタイムスケジュール



●現地見学会の開催日

	開催日	参加申込書提出期限
第1回	平成29年7月29日(土)【済】	—
第2回	平成29年8月26日(土)【済】	—
第3回	平成29年9月23日(土)	—
第4回	平成29年10月28日(土)	平成29年10月12日(木)
第5回	平成29年12月2日(土)	平成29年11月15日(水)

※各見学箇所でのマスコミ関係者の取材が可能です。

※現地見学会のタイムスケジュールの予定時刻は、当日の交通状況等によって前後する可能性があります。記載の時間より前に現地を移動することはありません。

○熊本地震による被災状況や現在までの復旧状況及び技術委員会での検討内容等について、以下の方々に現地説明を行い、復旧状況等についてご理解を頂きました。

- ・平成29年8月 4日 大津町の議員、区長等の皆さま(21名)
- ・平成29年8月22日 立野地域振興むらづくり協議会の皆さま(10名)
- ・平成29年8月24日 菊陽町の町長、議員、区長等の皆さま(29名)
- ・平成29年9月 4日 大津町の議員等の皆さま(18名)

○菊陽町長からは、「立野ダム建設につきましては、関係自治体と一緒に期成会を立ち上げ、国土交通省にお願いしています。」とのお話を頂きました。



大津町の議員、区長等の皆さまの視察の様子



立野地域振興むらづくり協議会の皆さまの視察の様子



菊陽町の町長、議員、区長等の皆さまの視察の様子



大津町の議員等の皆さまの視察の様子

仮排水路トンネル工事に着手

別紙4

○平成29年9月1日に、熊本地震後の出水により、土砂で一部が埋塞した仮排水路トンネル※の工事に着手しました。

○トンネル内に堆積した土砂の搬出を、仮排水路トンネル吐口（下流側）より行っています。



仮排水路トンネル吐口（下流側）の堆積土砂撤去状況



仮排水路トンネル吐口（下流側）の堆積土砂撤去後状況

※仮排水路トンネルとは、ダムの堤体建設の際に、工事に必要な期間だけ川の水を迂回させるための水路トンネル

(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- ・ 7 月 6 日 河川内にアプローチするための道路の復旧完了
- ・ 11 月 11 日 ダムサイト上流の準備工事用仮橋の復旧完了
- ・ 11 月 15 日 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、左岸工事用道路工事に着手
- ・ 12 月 27 日 左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に着手
- ・ 2 月 22 日 ダム本体工事及び復旧工事に利用する工事用仮橋工事に着手
- ・ 3 月 27 日 左岸斜面对策工に着手
- ・ 6 月 29 日 工事用仮橋完成
- ・ 9 月 1 日 立野ダム本体着工に向け、仮排水路トンネルの工事に着手

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

○平成 28 年熊本地震の規模が大きかったことを踏まえ、地震後のダムサイト予定地の基礎岩盤の状況、第四紀断層の状況、湛水予定地周辺斜面の状況を中心に調査・検討し、立野ダム建設に係る技術的な確認・評価を行うことを目的として設置した、「立野ダム建設に係る技術委員会」（活断層の専門家や総合土砂管理の専門家などの各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等の結論を得ました。

なお、本技術委員会の内容について、現地見学会等でもご説明しています。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

- 委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所を設置・配布しています。
- 「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所でご覧しています。
- 委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課
TEL：096-385-0707（代表）
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

○委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
- ・ 10 月 12 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 3 名
- ・ 10 月 13 日 景観、環境保全等に関する学識者 1 名
- ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名

(参 考)

- ・ 10月18日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6名
- ・ 11月15日 阿蘇火山博物館学術顧問
- ・ 11月25日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18名
- ・ 11月27日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9名
- ・ 12月7日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 7名
- ・ 12月10日 熊本青年会議所等の皆さま 約50名
- ・ 5月15日 熊本県（県議会建設常任委員会の議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18名
- ・ 5月22日 南阿蘇村（村長及び職員の皆さま） 5名
- ・ 6月30日 報道関係者
- ・ 7月14日 南阿蘇村（村議会議長、副議長、立野ダム建設特別委員会の委員、村長、職員の皆さま） 13名
- ・ 7月29日 第1回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 15名
- ・ 8月4日 大津町（議会議長、議員、大津町内16地区の区長の皆さま） 21名
- ・ 8月22日 南阿蘇村（立野地域振興むらづくり協議会の皆さま） 10名
- ・ 8月24日 菊陽町（町長及び職員、町議会議員、区長の皆さま） 29名
- ・ 8月26日 第2回 白川の復旧・復興対策現地見学会（白川流域にお住まいの方） 11名
- ・ 9月4日 大津町議員等の皆さま 18名

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

○治水パネル展等において、立野ダムに関するパネルを展示しました。

- ・ 11月5日～18日 白川地域防災センター 白川わくわくランド（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月7日～11日 熊本県庁（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月7日～18日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11月23日～12月1日 おおづ図書館（大津町：治水パネル展）
- ・ 12月5日～16日 杉並木公園管理センター（菊陽町：治水パネル展）
- ・ 1月29日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 3月5日 熊本市国際交流会館（熊本市：防災・減災シンポジウム）
- ・ 5月23日～6月6日 くまもと県民交流会館パレア（熊本市：白川治水パネル展）

○立野ダムにおける洪水調節の一連の流れや、流木等捕捉施設の機能をわかりやすく説明した新しい動画を立野ダム工事事務所ウェブサイトに掲載しました。

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第1報】～【第6報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第1報】～【第9報】」

「平成28年熊本地震から1年～復旧の歩みをまとめました～〈河川事業関係〉」

で公表しています。